

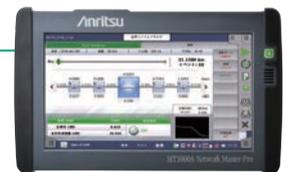
複数の測定を1ボタンで自動化 開通作業を簡単に、効率よく

SEEK(シナリオ編集環境キット) MX100003A
 ネットワークマスタ プロ MT1000A
 OTDR モジュール MU100020A/MU100021A/MU100022A



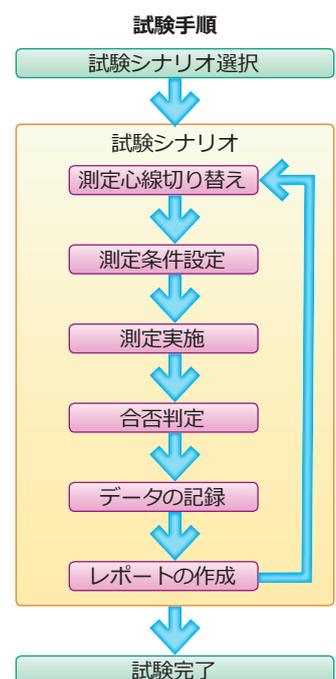
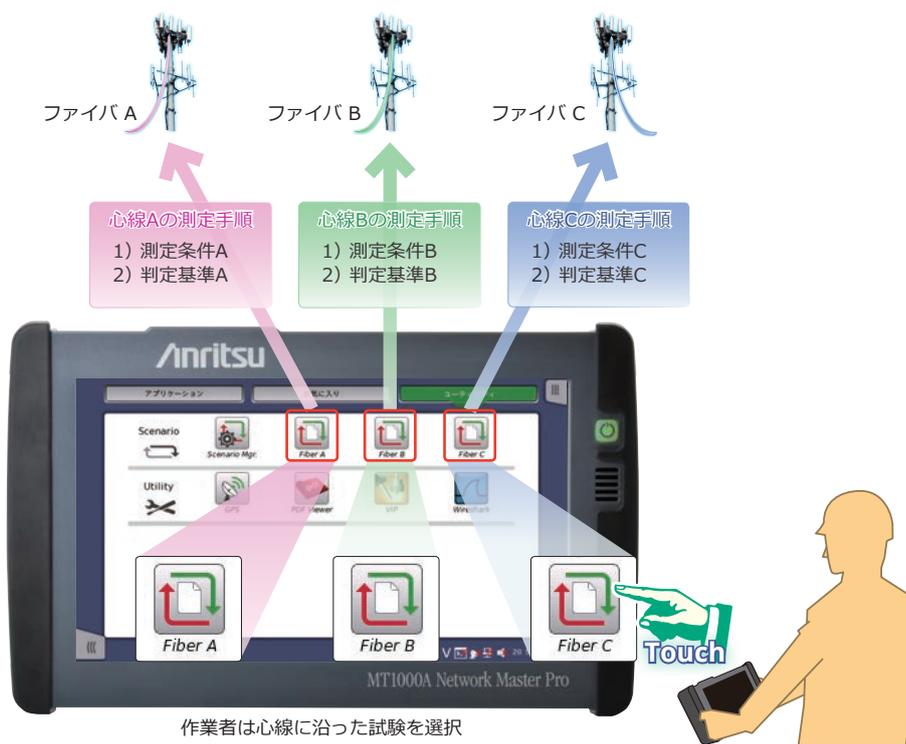
複雑化するネットワーク構築と開通作業業務の増大

光ファイバ線路評価は、光パルス試験器(OTDR)にて行います。測定作業は測定条件設定、測定実施、データ記録、合否判定、レポート作成を光ファイバの心線ごとに行います。また、データ信号の評価はコア、メトロ、アクセス、モバイルバックホール、モバイルフロントホールそれぞれで固有の通信技術が使われるようになってきているため、さまざまな通信規格に対応しているトランスポートテストを使用して行います。そのため開通作業者は、光ファイバ線路評価およびさまざまな通信技術について熟知している必要があります。1回の開通作業で、複数の測定項目を行う場合もあり、操作ミスによる手戻りなどOPEX増大のリスクも大きく、開通作業者の負担はますます高くなっています。



ファイバ敷設作業を自動化して作業者の負担を軽減

OTDRモジュール MT1000Aは、光ファイバの敷設・保守作業に必要な光パルス試験器、光源、光パワーメータ、可視光源を1台で提供できるため、現場に複数の測定器を持ち込む必要がありません。また、OTDRモジュール MT1000Aは、簡単に効率よく敷設・保守作業を行える自動試験機能を実装しています。このSEEKを使用した自動試験機能は、シナリオファイルに試験の測定条件や手順をあらかじめ設定でき、作業者は現場でそのシナリオを実行するだけで簡単に必要な試験を行えます。さらに、シナリオには、合否判定やレポート作成も組み込むことができるため、操作ミスや作業の手戻りをなくすることができます。



試験シナリオは専用ツールで作成編集が可能

シナリオ編集環境キット(通称SEEK) MX10003Aを使用することにより、GUIベースで試験シナリオを作成できます。自動化のためのプログラム言語に精通していなくても試験シナリオが容易に作成できるため、シナリオ作成時間も大幅に短縮できます。

MX10003Aは、アンリツWebサイトからライセンスフリーでダウンロードできるWindows アプリケーションです。

SEEK(シナリオ編集環境キット)MX10003A

シナリオ作成

試験シナリオのコピー方法

- USBメモリ
- USBケーブル
- LAN/WLAN

試験シナリオ

起動画面

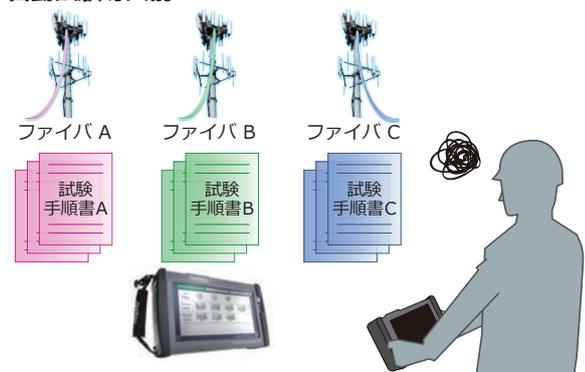
コマンドリスト
MT1000Aで標準実装している機能をアイコン化。ドラッグ&ドロップで試験シナリオの作成ができます。

試験シナリオ作成
コマンドリストからアイコンを並べることで試験シナリオを作成します。

コマンド詳細
ケーブルの接続や試験中の注意などをコメントや画像で表示できます。また、パラメータ入力もできます。

自動試験導入のメリット

自動試験導入前



- 作業者が試験手順書に沿って試験器を設定する
 - ネットワークごとに試験手順は異なる
 - 作業者のスキルにより試験器設定時間にばらつきが発生しやすい
 - 試験結果の合否判定を作業者が確認
 - 作業者の負荷が増大
 - 作業者がデータを確認しながらレポートを作成
- ⇒ 作業者に対して、事前に十分な研修期間が必要

自動試験導入後



- 測定器に試験手順が組み込まれている
 - 作業者は試験手順を示すアイコンを選ぶだけ
 - 試験結果の合否も手順の中で判定
 - 作業者は試験が最後まで実行されたかを確認するのみ
 - 全レポートを自動的に作成
- ⇒ 実作業の簡略化により作業者の負荷が軽減
1つの試験の時間が削減できるため、より多くのファイバ試験が可能